

医療介護福祉政策研究フォーラム・第3回シンポジウム

機能強化型ステーションとしての実践
看ます。生きます。この街で。プロジェクト

平成26年11月15日

訪問看護ステーションはーと

木戸 恵子

機能強化型ステーション算定条件

・24時間体制・看取り・重症者対応

- 24時間対応体制
- 重症者の受け入れ件数
- 年間看取り件数
- サービスを安定的に提供し得る看護職員配置



機能強化型ステーション算定条件

・医療・介護のケアマネジメント機能

- 居宅介護支援事業所を設置していること
(同一敷地内)
- 介護保険の利用者のうち、特に医療的な管理が必要な利用者1割程度について当該居宅介護支援事業所がケアプランを策定していること

機能強化型ステーション算定条件

- 地域の在宅療養環境整備への貢献
- 人材育成のための研修を実施していることが望ましい
- 地域住民等に対する情報提供や相談支援を行っていることが望ましい

(2014.8.15 看護協会ニュースより)



機能強化型訪問看護ステーションとは

- 多機能化
- 大規模化

東京都葛飾区 (2014年7月現在)

- ◆ 千葉県松戸市・市川市、
埼玉県三郷市に隣接
- ◆ 人口 **449,472人**
- ◆ 65歳以上人口 **106,483人**
- ◆ 高齢化率 **23.7%**
- ◆ 要介護認定者数 **18,759人**
- ◆ 病床数 **約1,600床**
- ◆ 施設定員 **約2,600人**(特養・老健)
- ◆ 訪問看護ステーション **29カ所**



訪問看護ステーション はーと

- ◆職員 看護職員 17名(常勤換算 11.6名)
リハスタッフ 2名
事務職員 3名 ドライバー 5名
- ◆一か月の訪問看護利用者 **170名程度**
- ◆利用者割合 医療保険:介護保険=**6:4**
医療保険の方が多い
⇒末期がんの方・難病の方が多い
- ◆一か月の連携医療機関 **約15ヶ所**
- ◆一か月の連携居宅介護支援事業所 **約35ヶ所**

訪問看護ステーション はーと

2013年度実績

- ◆新規利用者 **195名** (月平均**16名**)
- ◆退院時共同指導加算 **83件** (月平均 **7件**)
- ◆緊急時カンファレンス加算 **80件** (月平均 **7件**)
- ◆特別管理加算 **789件** (月平均**66件**)
- ◆在宅看取り **101名** (月平均 **8名**)
- ◆居宅介護支援事業所・ホームホスピス併設
- ◆機能強化型基本療養費1に指定(2014.4.1)



地域で見えてきた課題①

- ◆医療依存度の高い方が多い
 - ⇒ご本人・ご家族の不安が大きい
 - ご家族が疲弊してしまう
- ◆独居の方が多いい
 - ⇒孤独感が強く、不安になりやすい
- ◆低所得の方が多いい
 - ⇒賃貸アパートの大家さん
 - 「うちで死なれたら困るよ…」

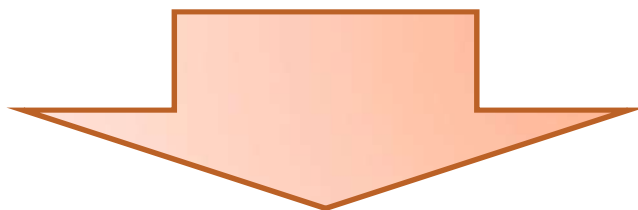


ホームホスピスの開設



地域で見えてきた課題②

連日訪問、複数回訪問を必要とする利用者様が多く、訪問看護師もさらにスキルアップする必要がある



看護師連携をより深める

- ・コールセンター事業
- ・専門看護師・認定看護師の

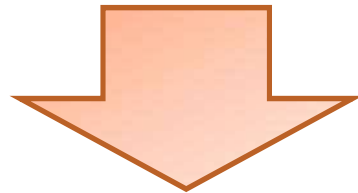
情報集約・発信

地域で見えてきた課題③

在宅支援スタッフの医療分野への
苦手意識や在宅看取りへの不安



他職種をサポートや協働体制の築き



介護のみのり♥カフェ開設

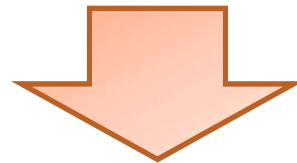


地域で見えてきた課題④

「時々入院、ほぼ在宅。」の仕組みが解らない



在宅医療・訪問看護が浸透できていない



街の保健室



看ます。生きます。この街で。プロジェクト

まとめ

私たちが進むべき道は

- 重症化予防
- 地域包括ケアをフルタイムでカバーする体力
- 相談・連携の場づくりとコーディネート力
- 見える化する工夫
- 個性を活かす教育



ご清聴、ありがとうございました。

